

# 文芸研ニュース

2024年8月1日

—NO. 167—

発行 文芸教育研究協議会  
編集 文芸研事務局



徳島大会に向けてプレ学習会(5月)

巻頭 辻委員長より	1
徳島大会の見所を現地より	3
初レポーター特集	4
事務局通信	5
事務局員の妄想日記	6

## 徳島大会開催の意味

委員長 辻恵子

### ◆四半世紀を経て

第36回徳島大会が開催されたのは、2001年、場所も同じ四国大学でした。(記念講演は松谷みよ子さん) 当時は文芸理論と教育的認識論とを軸に研究・実践を深め、文芸研の総合学習を追求した時期です。そこでは2日目の学年別・領域別分科会のほかに、3日目にはテーマ別分散会として、「環境」「平和・国際連帯」「人権」「性」(「文芸学入門」「ものの見方・考え方」)が設けられました。目の前の「国語の授業をどうするか」だけでなく、国語科を基盤にしつつも、視野を広げて私たちを取り巻く世界の問題を共に考える試みであり、大いに盛り上がりました。

あれから四半世紀ほどが過ぎ、今再び徳島の地で全国大会が開催されようとしています。これは民間団体がどこも新たな会員を増やすことに難渋し、活発な活動が困難になりつつある現代の状況にあつては、本当に稀有なことであり重要なことであると言わねばなりません。

## ◆全国各地に文芸研の大会を

最近はおんラインなら、どこでもだれでもどんな学習会にでも参加できるようになってきました。おんラインで学べるのですから、遠くまで行かなくてもいいと考える人も増えているようです。そう、おんラインなら参加は簡単です。しかし、だからといっておんライン参加は、対面で共に語り合い学び合うことと同じではありません。リアルだからこそ感じられる納得（あるいは新たな疑問）があり、高揚感もあって、「参加しておもしろかった」と思うのではないのでしょうか。さらに言えば、明日へのエネルギーになったりもつと学びたい気になったりするの、その場における人との直接的な交流が大きく影響するのではないかと思っています。

ただしリアルがよいといつても地域格差は大きく、都市部ではともかく地方では採算が合わないためリアル開催は見送られがちです。これは今に始まったことではないし、コンサートや観劇、講演会、スポーツイベントなどでも同じことです。地方の人は出てこい、という発想が根強くあるのです。だからこそ、わたしたちが徳島で全国大会を開催し、リアルに学び合う場を創る意味があるのです。改めて「大都市だけではないけない。全国各地でだれもが参加できるように全国大会をもつのだ」という西郷先

生の言葉の重みを感じます。

## ◆大会を成功させよう

そうはいっても何よりも徳島サークルの皆さんの奮闘、そして全国の皆さんの熱意がなくてはとても全国大会開催など無理な話。ここまで全ての人の力が結集して、ようやく開催にこぎつけたことをまずは喜びたいと思います。

そしてこの大会を成功させるには、わたしたちみんなが、それぞれの持ち場で活躍することです。そして参加者を巻き込むことです。この大会を機に、一人でも多くの人に文芸研の魅力を知ってもらい、わたしたちの仲間を迎えることが出来たら、それこそが大会の成功ではないでしょうか。



## 徳島大会の見所を現地より

徳島文芸研阿南サークル 沖野 真実

夏の阿波踊りシーズンを迎えると、あちこちでお囃子が聞こえ、徳島の街は踊りの渦に包まれます。徳島の熱い夏が、始まります。

そんな徳島で、第58回文芸教育全国大会・徳島大会が23年ぶりに開催される運びとなりました。会場は、四国三郎と呼ばれる吉野川のほとりに建つ23年前と同じ四国大学です。23年の間には、コロナでZoom開催になったり、働き方改革という名目で学ぶ機会が減ったりといろいろなことがありました。子どもたちと国語を通して真に深い学びを目指したいという熱い思いは、変わりません。今回は、コロナ前のように2日間たっぷり学びたいと思います。新しい教材文の実践報告もあります。言葉を中心にすえた特別支援教育は今までに無かった視点でアプローチした報告です。どの報告も情熱が伝わってくる素晴らしいレポートです。どうぞ、お楽しみに。

さて、徳島の魅力をご紹介します。ベタですが、阿波踊り・鳴門の渦潮・大塚国際美術館・剣山・サーフィンやサップができる海などでしょう

か。私の友人は、一面に蓮の花が咲いたレンコン畑や一両編成の汽車（電車は通っていないのでデイズル機関車）・稲穂の大海原に感動していました。山・海・川・田んぼに囲まれた自然豊かなところが、自慢でしょうか。スダチ・サツマイモ（なると金時）・鳴門ワカメ・レンコン・ちりめん・大野のり・フィッシュカツ・阿波尾鶏（あわおどり）・徳島ラーメンなど自然が育んだ素朴な物がお薦めです。藍染め体験もできます。また、江戸時代から続く、かつては日本一の生産を誇った阿波藍、伝統工芸品の藍染めも素敵です。そして徳島には、四国八十八カ所霊場巡りの一番札所から二十三番札所までがあります。お遍路さんをもてなしてきたように「お接待」の心で、皆さんをお迎えしたいと思います。

阿波踊りの歌詞に「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らなソンソン」という部分があります。阿呆とは、夢中になっている人のことを指していると思います。全国の熱心な文芸研の皆さん、参加者の皆さんを文芸の渦に巻き込んで、「同じ阿呆なら学ばなソンソン」と熱い2日間を楽しみたいと思います。お待ちしております。



## 初レポーターの意気込み&楽しみ

文芸研山口東サークル 大田 晃司

「まじめすぎるんちゃう？」

これは、春の実践研一日目に、同じテーブルにいらつしやった先生からの一言です。その先生は、「くじらぐも」の授業記録を読まれ、「まじめすぎる」私の性格を見抜かれたのです。二日目の全体での検討では、教師も児童も卒を外して、楽しんで学ぶ「精神の自由さ」が必要という助言をいただきました。

私は、十年以上文芸研で学び続けてきました。今回初レポーターとして、提案者の立場で自分の実践を見直す機会をいただいたことで、自分自身がよく分かっていないところ（性格も含めて）に気づくことができました。徳島大会での提案で見えてくる課題を、来年の千葉大会に向けての実践にも生かせるようにしたいと思います。

さて、まじめな話から話題を変えて、実は徳島大会で密かに楽しみにしていることがあるんです。何かというと、徳島名物のグルメです！ではここで、私が（笑）これだけは食べたい名物料理ベストスリ

ーを紹介しましょう。

・第三位！ 徳島ラーメン（甘辛スープの黒系を食べたことがないので、食べたいです。）

・第二位！ 徳島風お好み焼き（金時豆を入れた「豆玉」の味を確かめてみたいです。）

・第一位！ 阿波尾鶏のカレー（地鶏入りのカレー。想像するだけでも楽しみです。）

最後は食レポになりましたが、徳島大会では全力で提案して、様々なご意見をいただき、自分の成長につなげていきたいと思っています。よろしく願います。

## 初めての提案です！楽しみです！

広島文芸研広島サークル 吉田愛

「引き受けた人が一番勉強になるんよ。」これは初めて校内の全体研で授業者になったときに先輩に言われた言葉です。今回は初めて文芸研の全国大会でレポートを提案させていただくことになり、この言葉を思い出し「本当にその通りだなあ」とひしひしと感じました。

いつもは（大変失礼ながら…）半分読み流していた教材分析編の「作家と作品」の部分も、いざ自分

で書くとなると、今西祐行さんについての文献を探し読んだり、「一つの花」以外の作品も読んでみたりすることになり、その中で作家の思想に触れることができました。教材分析をするにあたっては、広島サークルのみなさんに相談にのっていただき、今までの実践記録や西郷先生が授業された記録などの資料をいただいて読み込むことで、「一つの花」で子どもたちに何を伝えていきたいかを自分の中で明確にすることができました。

そして2月をむかえ、いざ授業。「以前4年生を担当したときよりも深い教材研究ができています!」「よし、大丈夫だ!」と思ってやってみたものの、思ってもみないところでつまずいたり、伝わり切らなかったり:授業後検討していく中でも「もつとこうすればよかった」というところがたくさん出てきました。

全国大会では、そのような反省点も含めながら、参加者のみなさんの新しい観点の意見ももらいつつ、より深く「この教材で子どもたちに何を教えることができるか」を考えることができたと思います。楽しみです。



## 事務局通信

今年も全国大会の時期になりました。第58回徳島大会は、公開授業とシンポジウム、文化的行事に実践報告、さらには交流会と、コロナ過以前の全国大会が戻ってきました。いえ、ハイブリッド開催であることを考えると、コロナ過以前よりもグレードアップした大会になっています。これも松田大会実行委員長をはじめ、四国・関西ブロックの皆様の尽力があったからです。また、全国委員会を中心とした全国のサークル員の皆様のサポートがあったからこそです。ありがとうございます。提案者、司会者の皆様、オンラインサポートの皆様。二日目の分科会もどうぞよろしく願います。徳島大会に関わられている全ての文芸研サークル員で、大会を盛り上げていきましょう!

正式には皆様の承認が得られてからになります。が、山中尊生事務局長に代わり、今後は山口東サークルの酒井大輔が事務局長を引き継ぐ準備に入っています。事務局の会計を引き継ぎ、ようやく会計の仕事が分かってきたところです。山中尊生前事務局長ほど手際よくできないことの方が多いかと思いますが、引き継いだ際はどうぞよろしくお願いいたし



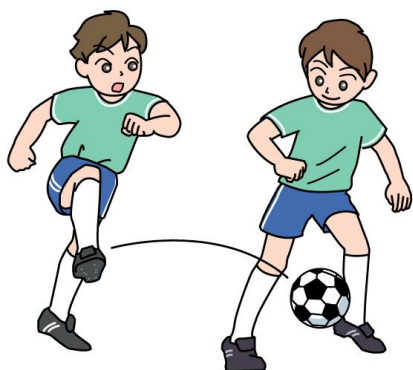
ます。

サークル会費の納入をお願いします！全国大会の際に直接酒井に手渡していただければ一番スムーズかと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

また、全国大会では文芸研のことをたくさんの人に知ってもらおうチャンスです。文芸教育や授業シリーズなども積極的に宣伝していき、多くの人に手に取ってもらえるよう、みんなががんばっていきましよう！

## 今後の予定

- ・8月24日(土) 20時、サークル代表者会議
- ・12月26日(木)・27日(金) 冬の実践研



## 【事務局員の妄想日記】ある日の学級通信より

上からと前から

「先生、目どうしたん？」

Aさんが気付き、Bさんが気付き、みんなが先生の目がいつもとちがいで、様子がおかしいと気付きました。左目まぶたが内出血しているように紫色です。それもこれも、左目まぶたが紫なのは殴られたからです。女性にです。

「奥さんちゃうん(笑)。」

「夫婦ゲンカちゃうねん(笑)。ソフトボールの試合でな…。」

土曜日、F小と他校の先生同士でソフトボールの試合をしていた時のことです。

ピッチャーのM先生(四年の時にみんなお世話になっているはず)、ショートの松山。その間にフライが飛びました。

さあ来た。打球を追います。M先生が捕れなさそうでしたが、松山が捕れそう。ところが、ボールが落ちて来るその視界の端にM先生の手の甲が見えました。このままいくと、リアットみたいな強烈な技を顔面に食らいそう。上からボール。前から手の甲のリアット。ボールを捕りながらも、リアットをかわすこ

とはできるのか。もちろん、それができれば最高のプレー。しかし、もう手の方をよけるのは不可能に近い。かなり至近距離。ボールを捕るならば、この目の前のラリアットは受けるしかない。シュートとしてフル出場してきて、このボールを捕れば勝利が決まる最後の打球。ラリアットをよける代わりに、ボールもよけてしまったら、F小のシュートと言えますか。言えません。

覚悟を決め、ボールを捕りつつもラリアットを食らうことになりました。でも、そのダメージを最小限に留めるため、今、瞬時に出来ること。それは目を閉じることだけでした。でも早く閉じてしまうと、ボールをグローブに入られないので、ギリギリまでボールは見えて、もう顔面に食らうという直前で目を閉じました。

プレーは終わりました。目を開こうとしました。しかし、開きません。右目は開くけど、左目が開きません。数秒してやっと開いたけど、ぼんやりしています。周りの先生たちが心配そうに駆け寄ってきてくれました。視界はぼんやりしていましたが、見えました。左手のグローブには、ボールが収まっていました。見なくても、感触で分かりました。これでゲームセット。

そういうわけで、個人懇談期間中、担任の左目まぶた紫色は確定。急にお化粧に目覚めて、左目だけアイシャドーを塗ってみたということではありません。（完）

【シュートシュートのような作文を一つ！】

## 自分の精一杯

Aさん

それはとつぜん起こった。私が自動販売機を使ってお金をくずそうとした時だ。千円札を入れて、円のなっちゃんのリんごジュースをおした。するとおつりが出てきた。そのときいわかんを感じた。小銭が少ないのだ。何円か確かめたらなんとそこには330円しかない。おかしいと思い、何回も確かめても結果は変わらない。お母さんと呼んでその会社に電話してもらった。その間私は自動販売機を見つめた。すると声が聞こえた。自動販売機の声だった。「すいません。これが自分の精一杯なんですー。」と言っていた。それを聞いた私は自動販売機も大変だなと思った。そして電話が終わり、翌日ポストには残りの550円が入っていたのだった…。 完

この作文（物語）は一部フィクションを含みます。

すごい！最後までよく読者を物語の中に引っ張った！一部フィクションなようで、いや全て真実なのではとも…。本当はもっとおつりを出さなといけない自動販売機なりに、自分の精一杯を出し切ってくれたのだ！その自動販売機の足りない330円を精一杯と見てあげる作者のやわらかさ、やさしさにかんぱいです！